学校番号	２０１

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究」　（数研出版）						
副教材等	「わかる・読める・解ける key&point 古文単語 330 四訂版」（いいずな書店） 「体系古典文法」（数研出版）「錬成古典（古文・漢文）」（尚文出版） 「ステップアップノート３０古典文法基礎ドリル四訂版」（河合出版） 「古典常識・文学史まとめノート」（筑摩書房） 「サウスポインター高校漢文」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業に主体的に取り組む姿勢を身に付けよう。
　・他者との意見交換や共有の機会を生かし、授業内容の理解に積極的に取り組む。
　・課題等の提出期限は厳守。
２．学力を定着させる自宅学習の習慣を身に付けよう。
　・予習復習をする。　・授業前後で疑問に思った点などを整理し、発展的学習に生かす。
３．古典（古文漢文）解釈に必要な知識を身に付け、読解力を構築しよう。
　・語彙、古典文法、古文常識、漢文句形、文学史など、読解に必要な知識を身に付ける。
　・文章を読解する技術を身に付ける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の古典の諸作品に対する理解を深めることを通し、生涯にわたる社会生活を豊かなものにする国語の多様な知識や技能を身に付けるとともに、積極的に表現する姿勢を涵養する。
【思考力、判断力、表現力等】
他者との関わりの中で、自己の思いや考えを整理・深化させ、他者の考えに深く共感したり、伝え合う能力を高めるとともに、論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸長させる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉を通して他者や社会に関わる意識を確立することで、言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむなか、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を新たにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴やきまり、古典文法・漢文句法・古文常識・文学史・語彙など、伝統的な古典作品に親しむための知識を身につけている。また、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解し、身につけた知識・技能を用いて、古典の文章を適切に解釈している。	伝統的な古典作品を題材とする複数のテキストについて、習得した知識や読解力を駆使しつつ、的確に内容を読み取ることができる。また、他者の意見を踏まえることで、自分の考えをさらに深め、発展させている。かつ、自分の意見や感想を、目的、意図に応じた形でまとめ、文章で適切に表現できている。	伝統的な古典作品に関心を持ち、積極的に学習に取り組むことで、国語全般への探究心を深めている。また、他者と協働し、自分の考えを深め、的確な言葉を用い表現することで、言葉のもつ価値への認識を深め、さらに高次な言語活動への取り組みに対し、意欲を高めている。

先に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の文章を読解し、和歌の解釈を行う。 『十訓抄』「大江山」 『大和物語』「鳥飼の院」	a：古文を読むために必要な文語のきまりや、和歌解釈のきまりについて、理解を深めている。 b[読]：筆者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解を深めている。 c：学習内容について深く考察し、話し合いに積極的に参加している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト
	漢文の文章を読解し、論理的な展開を読み取る。 ［教材］ 『説苑』 「江南橘為江北枳」	a：漢文を読むために必要な句形のきまりや、寓話を交えた文章の展開について理解を深めている。 b[読]：漢文の文章を多面的・多角的な視点から読解することを通して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：学習内容について深く考察し、話し合いに積極的に参加している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト
	古文の歴史物語を読解し、登場人物それぞれの描かれ方の違いから、主題を理解する ［教材］ 『大鏡』 「花山天皇の出家」 「南院の競射」	a：敬語について正しく理解し、敬語表現を登場人物の把握や人物関係の的確な理解に活用できる。 b[読]：物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を理解している。 c：一語の解釈の違いで発言全体の真意がどう変わるか詳細に考察し、話し合いに積極的に参加している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト
	漢文の歴史物語を読解し、登場人物それぞれの描かれ方の違いから、主題を理解する ［教材］ 『史記　項羽本紀』 「鴻門之会」 「四面楚歌」	a：漢文を読むために必要な句形のきまりや、複数の登場人物が関わる文章の展開について理解を深めている。 b[読]：訓点に従った正しい訓読、白文での内容の読み取り、書き下し文の作成などが的確に行え、文章の内容を理解している。 c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト
2学期	女流日記を読解し、中古の受領階級の状況について知識を得ることを通し、現代の我々との相違について考える。 ［教材］ 『更級日記』 「東路の道の果て」 「物語」	a：古文を読むために必要な文語のきまりや、作品にまつわる古文常識について、理解を深めている。 b[読]：作者が東国を離れる時に感じた悲しさや、文学作品と向き合う際の夢想的な性格を読み取れている。 c：古文の物語を主体的に読解し、作者の個性や心情を的確に理解しようとしている。また、他者の意見を汲み取り、自分の考えに生かしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト
	漢文訓読のきまりをふまえ積極的に読解することで、漢文の世界への親しみを深める。 ［教材］ 『後漢書』 「梁上君子」 『世説新語』 「三横」	a：二重否定・部分否定・再読文字・受身・使役・反語といった漢文句形をはじめ、本文中に登場する訓読のきまりについて理解している。 b[読]：登場人物の発言やこめられた心情を的確に理解し、本文を読み味わうことができる。 c：文章を主体的に読解し、登場人物の個性や心情を的確に理解しようとしている。ま	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト

		た、他者の意見を汲み取り、自分の考えに生かしている。			
	源氏物語を読み、登場人物の心情と人間関係、人物像を読み解き、源氏物語の世界観を知る。 ［教材］ 『源氏物語　桐壺』 「光源氏誕生」	a：敬語法、助動詞や助詞といった、古文を読むために必要な文語のきまりや、物語展開を正しく読み解く古文読解について理解を深めている。 b[読]：源氏物語について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして積極的に話し合いに参加している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト
	漢文の志怪小説の文章を読み、展開を的確に把握することで、漢文の世界への親しみを深める。 ［教材］ 『捜神記』 「売鬼」	a：疑問・限定・禁止・詠嘆・累加・抑揚といった漢文句形をはじめ、本文中に登場する訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：幽霊と人間の性質についての対照的な描写を踏まえつつ、展開を把握する。 c：文章を主体的に読解し、志怪小説の神怪奇異な展開を理解しようとしている。また、他者の意見を汲み取り、自分の考えに生かしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト
3学期	女流日記を読解し、一夫多妻制の結婚生活において苦悩する作者の心情を読み取る。 ［教材］ 『蜻蛉日記』 「うつろひたる菊」 「鷹」	a：古文を読むために必要な文語のきまりや、展開を正しく読み解く古文読解、和歌の修辞技巧、中古の婚姻制度などの古文常識、作者に関連する文学的知識について、理解を深めている。 b[読]：主体特定や省略されている事柄の補完、指示内容の把握などを行いつつ文脈をたどり、把握した内容を踏まえて和歌解釈を行っている。 c：意味内容の把握が難しい日記文学の読解や和歌解釈を粘り強く行い、理解に至ろうと努力している。また、成果について積極的に共有し、話し合うことで、さらに高めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト
	・唐宋八大家の一人、韓愈の文章を読解することで、漢文の散文の修辞と日本文化への影響について考える。 ［教材］ 『韓昌黎集』 「師説」	a：本文中に登場する訓読のきまりについて理解を深めている。また、文章に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について的確に把握している。 b[読]：各種の修辞の使用箇所を的確に指摘し、構成や展開などを理解している。 c：本文に用いられた修辞や本文構成について、粘り強く分析し、読解に反映させようとしている。また、他者の意見を汲み取り、自分の考えに生かしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 小テスト

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間